

黒潮町地域公共交通活性化協議会

平成21年2月26日設置
平成22年3月23日連携計画策定



概要

町内の山間部を中心に運行する廃止代替バス路線を将来に渡って、現状どおり維持しつづけることは困難な状況になりつつある。このため持続可能な生活交通体系の構築を目指し、公共交通空白地域の解消及び利用者の少ないバス路線の運行方法を見直すための実証運行(車両購入含む)や路線バスの利用促進に向けた取組みとしてバス停の整備等を実施する。

◆町民の安心な生活を支える公共交通

【公共交通の空白地域の解消】

・公共交通の空白地域解消に向け、優先度の高い、市野々川地域及び川奥地域で実証運行を行うことで利用状況を把握するとともに適した運行方法を模索し公共交通空白地域の解消を図る。

◆効率的かつ柔軟で持続可能な公共交通

【週間利用者数がゼロの運行システムの解消】

・定期バス路線(利用者が少ない路線について)に代わる運行方法として、乗合タクシー等の実証運行を行い、将来的な導入を目指す。

◆町内外の活発な利用に支えられた公共交通

【利用者の維持拡大に向けた情報発信を行うための整備】

・バスの乗降場所が分かりにくい状況にあるため、地域で起点となるバス停(支柱+基礎)を整備することにより、バスを利用しやすい環境に整備するとともに、バス停に料金や時刻を掲載することで、情報発信を図る。
・携帯可能な紙媒体による公共交通の総合的な情報を発信することにより、地域住民への周知や利用促進につなげる。

